

3月度月例句会 会報・HP掲載句

三月詠草

兼題：雛祭り、桜湯、当季雑詠

男手とおだて頼られ雛飾る	中山 知祐
雛祭ひ孫いだきて月碧し	生江沢五風
江戸雛に聴きたし見聞きしたことを	石原 克己
雛の笑みロボットの瞳輝く	佐藤 政百
鴨川の光る水面や雛飾り	森 邦彦
雛飾りをへし起居のひそやかに	六川 里風
百段の雛が見渡す安房の海	安井 正浩
桜湯をまずいただいて和菓子カフェ	城戸崎雅崇
ほんのりと桜湯の花ほころびぬ	清家 静楓
桜湯の客を送りてひとりかな	大仲 正敏
桜湯や飲んで忘れし宴の辞	小野 信
手のひらに桜湯つつみ婚の父	宮川 至剛
お雛さま外に飾られふるえてる	川田 勝美
なお我は桜吹雪の監査役	眞田 宗興
	以上